CMd-PMC2102
（CT Sensor
CT センサ）

CMd-USBA5214NS
（USB 受信機）

取付けマニュアル

Version 1.00A

Nissin Systems

本資料の使用に関して

※　本資料は CT センサの取扱説明書の補足資料になります。安全上のご注意等の事項は取扱説明書に記載されていますので、取扱説明書は必ずお読みください。
※　本資料の内容は予告なく変更することがあります。
※　本資料の転載・複製に関しましては、当社の許諾が必要です。
※　本資料に記載されている情報等の使用に関して、当社は当社もしくは第三者が所有する知的財産権その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
※　本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、当社は一切その責任は負いません。

商標等について

※　本製品は CeraMicro 社の製品であり、日新システムズは本製品の日本の販売代理店です。
※　本書に記載の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

目次

第1章　はじめに　3

1　ご準備いただく機材 3

第2章　CTセンサの施工　4

1　主幹電力計測のための取付け手順 4
2　太陽光パネル発電量計測のための取付け手順 7
3　個別で電力使用量を計測する場合 7

第3章　CTセンサ初期設定　8

1　初期設定手順（ペアリング） 8
2　アンペアリング手順 10

第1章 はじめに

1 ご準備いただく機材

CT センサ機材

CT センサ
(CMd-PMC2102)
x 設置数個

USB 受信機
(CMd-USBA5124NS)

別途ご準備頂く機材

CT センサに電源を供給するための配線部材

CT センサを分電盤に固定するための部材

これらは分電盤のメーカ、種類によって部品や取付け方法が異なります。分電盤の取扱説明書も合せて読みながら適切な部材で取付けを行ってください。

初期設定に必要な機材※1

USB チャージャー
1 個
（推奨：CE01-IPO）

USB チャージャー用
単三電池
2 個

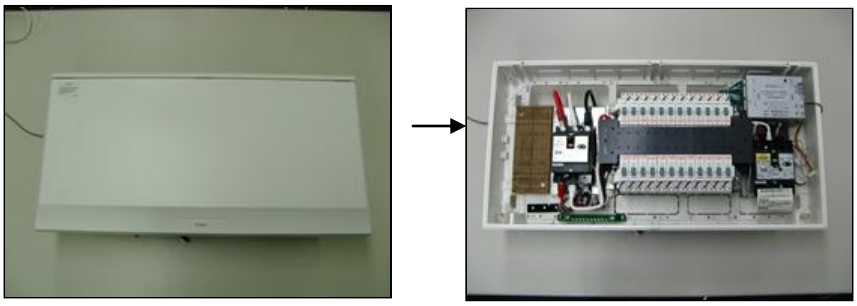
※1 ここでは USB チャージャーを指定していますが、USB 受信機に電源を供給できれば他の機材を利用していただいて構いません。

第2章 CT センサの施工

1 主幹電力計測のための取付け手順

CT センサを分電盤に取付ける際の手順について説明します。
（分電盤の種類によって若干手順が変わります。分電盤の取扱説明書と合せてご覧ください。）

1. 分電盤のカバーを取り外します。

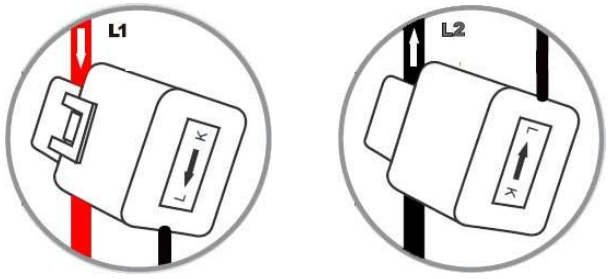


2. 漏電ブレーカが OFF になっていることを確認のうえ、CT を取付けます。

CT を取付けます。

L1(赤)と L2(黒)に取付けます。N(白)には何も取付けません。

CT の取付け向き



CT に “K→L”の刻印があります。刻印の向きを間違わないように取付けてください。

3. 電源の供給

分岐ブレーカ(220V)から電源を供給します。黒い線を L1 側、白い線を L2 側に接続します。

分岐ブレーカ(220V)が無い場合は、以下のように電源を供給することが出来ます。

黒い線を L1(赤)
白い線を L2(黒)
へ接続します。

分電盤の接続端子に合わせて、CT センサの電源線に端子を付けるなどの加工をお願いします。

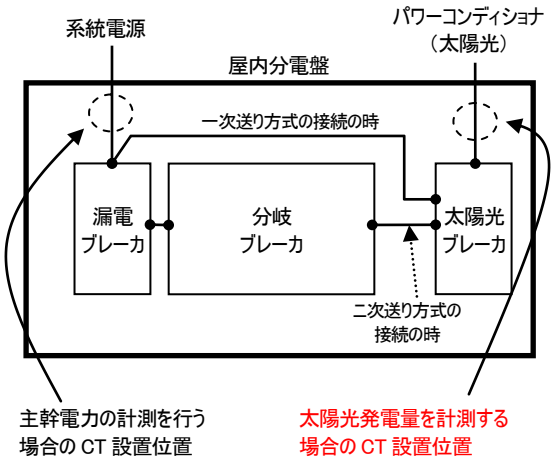
4. CT センサを分電盤の空いている場所に固定します。

分電盤のメーカや種類により空き場所は違いますので、分電盤に応じて適切な場所への固定をお願いします。
(本体に傷をつけないように固定してください。)

例)

2　太陽光パネル発電量計測のための取付け手順

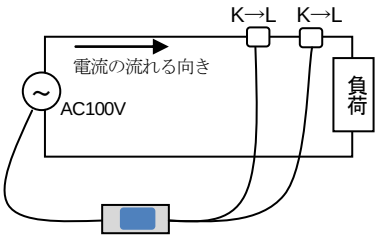
太陽光パネルの発電量を計測するための CT センサの取付け手順を説明します。CT の取付方法、電源の供給方法は主幹電力計測の場合と同じです。ここでは CT の取付位置の説明を行います。



太陽光ブレーカからの接続は一次送り方式と二次送り方式とで結線方法が違います。
太陽光システム、分電盤等の資料を参照願います。

3　個別で電力使用量を計測する場合

CT センサで個別の電力使用量を計測する場合は以下のような接続を行います。ただし、CT センサに供給する電圧は日本国内用の AC100V とします。



CT の K→L の向きを合わせて設置してください。　また、電流の流れる方向と逆向けに取付けた場合は電力量がマイナスで表示されます。

第3章 CT センサ初期設定

1 初期設定手順（ペアリング）

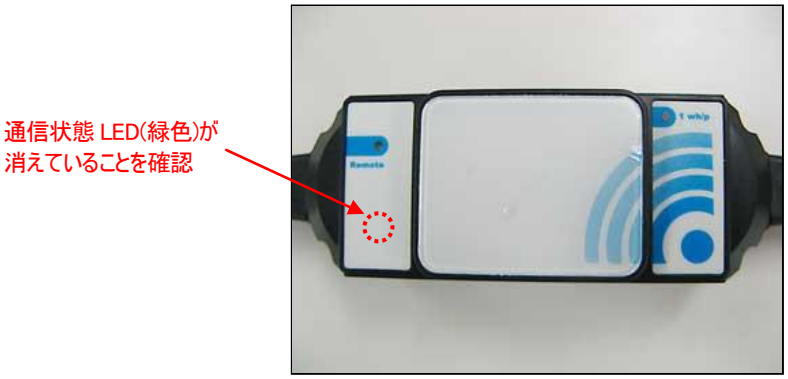
CT センサの初期設定手順（ペアリング）について説明します。

はじめに

CT センサの通信状態 LED を確認ください。緑色で点灯している場合は、すでにペアリングが完了しています。消灯、もしくは 1 秒間隔で点滅している場合は以下の手順に従ってペアリングを実施してください。

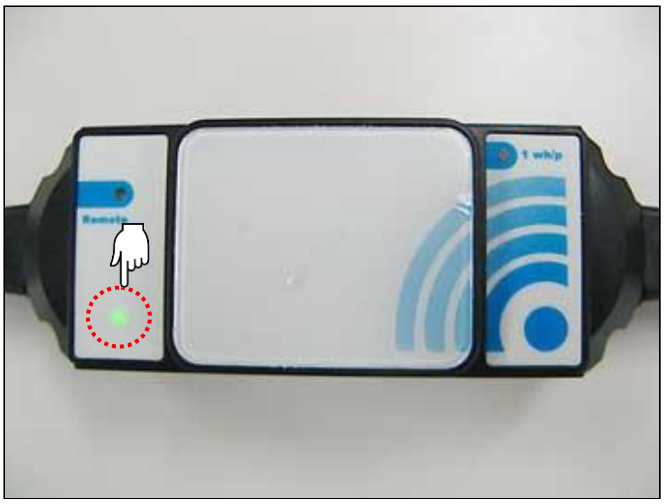
1. USB チャージャーに USB 受信機を接続し、USB チャージャーの電源を入れます。※1

2. CT センサのペアリングエリアを 7 秒以上タッチして離します。設定が初期化され、通信状態 LED（緑色）が消灯します。
なお、CT センサのペアリングエリアは、下図赤点線丸内の平らな部分でボタン形状にはなっておりません。（内部に静電センサーが組み込まれています）



※1 ここでは USB チャージャーを利用していますが、USB 受信器に電源を供給できれば他の機材を利用していただいても構いません。

3. USB 受信機のペアリングボタン（赤色 LED と同一）を 3 秒以上長押しして離します。USB 受信機の通信状態 LED が 1 秒周期で点滅します。
   CT センサのペアリングボタンを 3 秒以上長押しして離します。CT センサの通信状態 LED（緑色）が点灯します。

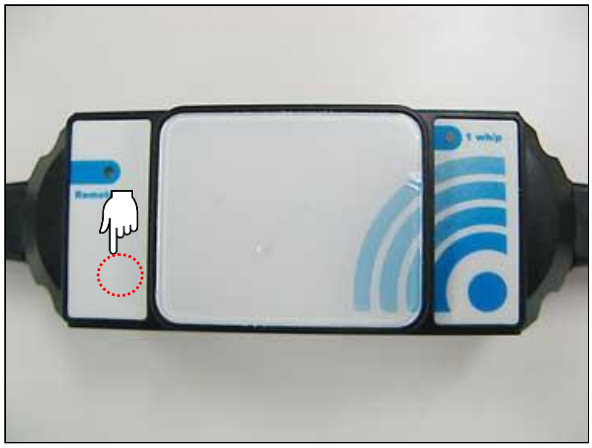


これでペアリングは完了です

2　アンペアリング手順

ペアリングを解除する場合の手順を説明します。

1. CT センサのペアリングエリアを 7 秒以上タッチして離します
   設定が初期化され、通信状態 LED（緑色）が消灯します。



これでペアリングの解除が完了です。

保守サポートお問い合わせ窓口
日新システムズ
WEB サイト　　http://www.co-nss.co.jp/

Copyright © 2013 NISSIN SYSTEMS Co., Ltd. All Rights Reserved